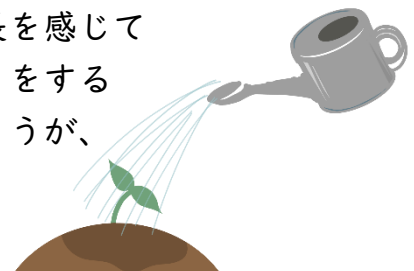


去年の中学3年生の夏の特訓は、リモートと対面の自由選択にしました。コロナ禍ということもあり、大半がリモートで対面は1, 2名という比率でした。今年はその逆で、リモートが1, 2名で大半が対面でありました。月～金曜日の午前10時～12時に2時間の特訓を受け、火、金は夜の通常授業も受けるわけで、送迎をしてくださったご家族も大変だったでありますが、出席率が高く、ようやく皆、エンジンがかかってきたようです。

この中3の夏が、じっくりと腰を据えて理科を教えられる期間なのです。明正では、亀中、関中、中部中、芸濃中の生徒がいて、学校によって学習しているところが様々なため、授業できっちりと説明することができません。そのため、普段はテスト前の勉強会で生徒の質問に対して解説することにしていました。理科は覚えなければならない分野と、物事の道理を理解する分野とがあります。例えば化学では元素記号を覚え、元素記号を覚えたら化学式を覚える、化学式を覚えたらおのずと化学反応式ができるようになる。化学式ができないのに化学反応式ができるわけがなく、化学反応式が出来なければ化学の問題が解けるわけありませんよね。ただ覚えておいてねと言っても生徒は覚えてくれません。何度もテストしてようやく覚えることができる、その時間がこの夏休みなのです。また、物事の道理の説明は、自分で言うのも照れくさいのですが、上手なのです。生徒からすると、説明の例えはいまいちと言うかもしれませんが、私は気に入っているのです。とにかく中途半端に説明したくないのです。だから、1回2時間の授業が、私にとって最適な時間なのであります。生徒にとっても大切な夏でありましょうが、私にとっても納得できる授業ができるか真剣勝負の夏なのです。そんな中、授業が終わってから自主勉強する生徒がいたり、今までジュース問題でとんちんかんな答えしか言わなかった生徒がジュース問題を正解してくれたり、嬉しい成長を感じています。生徒を育てるということは、植物に毎日水やりをするのと同じ、大半の水は地面を通過して無駄となりましようが、植物が必要とした時のために、水をやり続けなければなりません。さてさて、明正の中3生、少し背丈が伸びてきましたね。



9月18日(月)・23(土)

祝日のため全クラス休塾
自習、ブロードバンド受講は
できます

連絡事項

【英語検定】しめきり 9月1日(金)

検定日 10月8日(日)

二次試験 11月12日(日)

※締め切りを過ぎた申し込みは受付できません

